

2014 年度第一回臨床検査項目標準マスター運用協議会全体会議 議事録
(全体会議・改善サブ WG・共用化サブ WG・運用体制整備 WG 共催)

● 日時 2015 年 1 月 13 日 (火) 13:30～16:45

● 場所 MEDIS-DC 会議室

● 出席者：※敬称略／順不同

康東天、山田修、清水一範、真鍋史朗、堀田多恵子、宮下弘信、石黒厚至、山崎雅人、板橋光春 (以上、JSLM)、藤咲喜丈、千葉信行、岡田裕善 (川田剛代理) (以上、JAHIS)、河添悦昌 (大江和彦代理)、大原信 (以上、JAMI)、山上浩志 (MEDIS)、渋谷尚彦 (JACRI)、吉村洋一、小林直哉、村上和生、馬場直樹、金村茂 (以上、JRCLA)、大平泰士 (須賀ひとみ代理) (MHLW)

事務局：山田悦司 (JSLM)、田中一宏 (MEDIS)

● 欠席者：※敬称略／順不同

安藤純一、海渡健、三宅一徳、久野義和、小須田宰 (以上、JSLM)、松本一弘 (JACRI)、橋本出 (JRCLA)、佐守友博 (JCCLS)

配布資料

資料 1 運用事例表について (共用化サブ WG)

資料 2 JLAC10 附番状況について (運用体制整備 WG)

資料 3 運用協議会 HP へのアクセス件数について (事務局)

資料 4-1 運用協議会 2015.01.13 提言書(案) (改善サブ WG)

資料 4-2 運営協議会課題 2015.01.13 (改善サブ WG)

資料 4-3 JLAC11 分析物コード配列適用細則(案) (改善サブ WG)

資料 4-4 運用協議会 2015.01.13 JLAC11 測定法案 (改善サブ WG)

資料 4-5 運用協議会 20150113 JLAC11 コーディング案 (改善サブ WG)

資料 5 今後のスケジュールについて (事務局)

● 議題

□ 報告事項

1. 運用事例表について（共用化サブ WG）

- ・ 資料 1 により、運用事例表の進捗について報告がなされた。
- ・ 運用事例表は、2014 年 3 月から 4 回更新をおこなった。これまでの更新の内容は訂正が中心で、対象項目は、積極的に増やしていない。
- ・ 今後のメンテナンス体制作りが必要である。

2. JLAC10 附番状況について（運用体制整備 WG）

- ・ 資料 2 により、JLAC10 附番状況について報告がなされた。
- ・ 体外診断薬は、PMDA サイトへの添付文書登録義務化（必ず登録する運用）から除外されたことから、体外診断薬製造販売メーカーが自主的に 100%の添付文書を提供することは、難しい。従って、添付文書の入手を維持する体制作りが必要である。

3. 運用協議会 HP へのアクセス件数について（事務局）

- ・ 資料 3 により、運用協議会 HP へのアクセス件数について報告がなされた。

□ 協議事項

1. JLAC11 について（改善サブ WG）

- ・ 資料 4-1、4-2、4-3、4-4、4-5 により、説明がなされた。
- ・ 協議の結果、調整事項については、次頁参照のこと

2. 今後のスケジュールについて（事務局）

- ・ 資料 5 により、今後の活動スケジュールの変更案について説明がなされ、了承された。
- ・ 検査項目コード委員会を 2 月 6 日、7 日（二日間）に開催する。

以上

（記録 田中、山上、山田悦）

1. JLAC11について(改善サブWG)

区分	1/13 資料番号	適用細則等 見直し	附番事例 見直し	調整事項	担当
基本方針	4.1 (1頁)	×	×	・特に変更なし	なし
検査名称	4.1 (1頁)	○	○	・分析物コードに案2の採用により、再作成	清水
分析物名称・コード	4.1 (3頁)	○	○	・分析物コードに案2の採用により、適用細則、分析物名称の再作成 ・詳細は、次回検査項目コード委員会で検討する。	真鍋
識別名称・コード	4.1 (4頁)	×	×	・特に変更なし	なし
材料名称・コード	4.1 (5頁)	×	×	・特に変更なし	なし
測定法名称・コード	4.1 (6頁)	○	○	・検査分野により、測定装置&試薬単位等、実体に即した附番方法を検討 ・詳細は、次回検査項目コード委員会で検討する。	渋谷
結果名称・コード	4.1 (7頁)	○	○	・特に変更なし。適用細則は、新規作成が必要である。	
17桁コード		-	再作成	・分析物コード&測定法コードの体系見直しにより再作成	
JLAC10/11 対比表		-	再作成	・分析物コード&測定法コードの体系見直しにより再作成	